

大分工業高等専門学校	開講年度	令和02年度(2020年度)	授業科目	微分方程式
科目基礎情報				
科目番号	R02C304	科目区分	一般 / 必修	
授業形態	授業	単位の種別と単位数	履修単位: 1	
開設学科	都市・環境工学科	対象学年	3	
開設期	前期	週時間数	2	
教科書/教材	齊藤 純一 他, 「新微分積分II」・「新微分積分II問題集」, 大日本図書			
担当教員	北川 友美子			

到達目標

- (1)工学や自然科学に現れる現象に対して、微分方程式を立てることができる。(定期試験と課題)
 (2)基本的な1階微分方程式を解くことができる。(定期試験と課題)
 (3)基本的な2階微分方程式を解くことができる。(定期試験と課題)

ルーブリック

	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安
評価項目1	工学や自然科学に現れる簡単な現象に対して、微分方程式を立てることができ、その解を求めることができる。.	工学や自然科学に現れる簡単な現象に対して、微分方程式を立てることができ。.	工学や自然科学に現れる簡単な現象に対して、微分方程式を立てることができない。
評価項目2	1階微分方程式の(一般)解を求めることができ。特に、変形分離系や、同次系について求めることができます。	基本的な1階微分方程式の解を求めることができる。	基本的な1階微分方程式の解を求めることができない。
評価項目3	基本的な2階微分方程式の解を求めることができ、さらに連立微分方程式や非線形な2階微分方程式の解を求めることができる。	基本的な2階微分方程式の解を求めることができる。	基本的な2階微分方程式の解を求めることができない。

学科の到達目標項目との関係

学習・教育目標 (B1)

教育方法等

概要	1階および2階の微分方程式の解法を学ぶ。特に2階微分方程式については線形微分方程式を中心に学ぶ。 授業時間数 46.5時間
授業の進め方・方法	黒板を用いた対面授業の手法をとる。基本的な1階および2階の微分方程式の解を求める手法を学ぶ。
	授業時間中に、適宜小テストを行う。
注意点	<p>総合評価： 達成目標の(1)～(3)について2回の定期試験と小テストで評価する。 総合評価=2回の定期試験80%+小テスト20%とする。 総合評価が60点以上を合格とし、総合評価が40点以上60点未満の場合は再試験を実施する。なお、出席状況・授業中の態度により10%を上限として減点することがある。</p> <p>(再試験について) 総合評価が60点未満のものに対して再試験を実施する。</p>

評価

授業計画

	週	授業内容	週ごとの到達目標
前期	1stQ	1週 微分方程式の意味 微分方程式の解	・微分方程式の意味を理解する。 ・微分方程式の(一般)解の意味を理解する。
		2週 変数分離形	変数分離形の微分方程式の解を求めることができる。
		3週 同次形	同次形の微分方程式の解を求めることができる。
		4週 1階線形微分方程式	1階線形微分方程式の(一般)解を求めることができる。
		5週 2階微分方程式の解	2階微分方程式の(一般)解を表すことができる。
		6週 2階線形微分方程式	2階線形微分方程式の一般解の性質を理解する。
		7週 定数係数齊次線形微分方程式①	定数係数齊次2階線形微分方程式の一般解を求める公式を導く。
		8週 定数係数齊次線形微分方程式②	公式を利用して、基本的な定数係数齊次微分方程式が解ける。
	2ndQ	9週 演習	演習で理解度を確認する。
		10週 定数係数非齊次線形微分方程式①	基本的な定数係数非齊次線形微分方程式を解くことができる。
		11週 定数係数非齊次線形微分方程式②	応用的な定数係数非齊次線形微分方程式を解くことができる。.
		12週 いろいろな線形微分方程式①	基本的な連立微分方程式を解くことができる。
		13週 いろいろな線形微分方程式②	定数係数でない線形微分方程式を解くことができる。
		14週 線形でない2階微分方程式	線形でない微分方程式を置換や変形を行い解くことができる。
		15週 前期期末試験	試験で理解度を確認する。
		16週 前期期末試験の解答と解説	解けなかった問題を理解し、解けるようにする。

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
----	----	------	-----------	-------	-----

基礎的能力	数学	数学	数学	微分方程式の意味を理解し、簡単な変数分離形の微分方程式を解くことができる。	3	前2,前3,前4
				簡単な1階線形微分方程式を解くことができる。	3	前4
				定数係数2階齊次線形微分方程式を解くことができる。	3	前7

評価割合

	試験	小テスト	合計
総合評価割合	50	50	100
基礎的能力	20	25	45
専門的能力	20	25	45
分野横断的能力	10	0	10